

もしも僕がマフラーに恋した

半袖Tシャツだったら

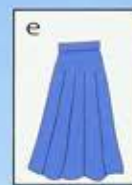
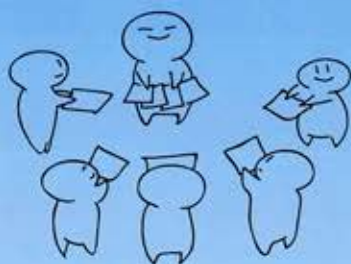


LGBTの方々は日本の全人口の8%^{*}いるといわれています。これは40人クラスに約3人いることになります。こう聞くと多くて身近な存在のように感じますが、私たちはそれらを理解し、考えようとする機会が無く、普通ではないというイメージを持ってしまいがちかもしれません。そのため周りとは違うという理由だけで差別されていることも事実です。もっと「LGBT」の理解を深めて、根本から考え直し、多くの人たちが普通だと思っている異性同士のカップルと同等に生活できる環境を周りから作っていききたいと思いました。そこで私たちの作ったカードゲームで遊んでLGBTに対しての知識を身に付けてもらい、現状つらい思いをしている方々もいるということもわかってもらい、身近にある差別がなくなる未来を作れると信じています。

初級編

① カードを引く

カードにはそれぞれ自分になりきる役が一つ書かれています。
ランダムで1枚引いてください。



② 設定を基にした台本を配り、

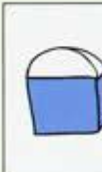
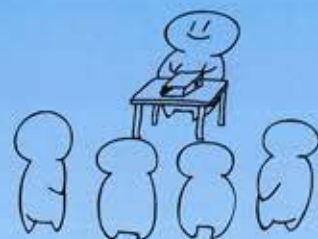
ストーリーを進めよう



e 「お前 (a) ってマフラーが好きなんだってー？」
c 「うっわまじかよ、ないわー」
d 「熱いんだか寒いんだかどっちかにしろよ」
a 「そそそそんなわけ、ないじゃないですか、..」
c 「おいマフラー、お前は どう思ってたよ」
b 「えーキモイんですけど」
a 「だから違うって！！！！」
e 「うっわ、まじになってんじゃん」
d 「大体夏物のくせに冬物好きになってんじゃねーよ」
c 「ふつうは夏物と冬物一緒に着ないよねー」
e 「あわなーい」
d 「ちょっとーそんなに言ったら (a) がかわいそうだってーww」

上級編

① グループの中から1名だけカードを引こう



..... etc

② そのほかの人たちで、カードに書いてある

ワードを使って①の人物を批判しよう



※例：修正液に消されたいシャープペンシル

「何お前、修正液に消されたいの？」

「いや、ないわー」

「ふつうは消しゴム使うから。」

「だよねー、修正液はないよねー」

「シャープペンのくせに」

、、、 批判される側が耐えられなくなるまでやります。

③ 話し合いをしよう

なりきった人が「L・G・B・T」のどれにあたるのかを話し、それを知ったうえで批判をされて嫌な気持ちになったのか、どんなことを言われて嫌な気持ちになったのかを話し合いましょう。